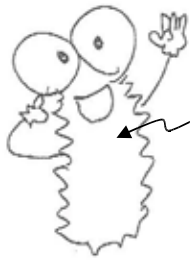


# アメリカシロヒトリ百郎物語



NPO法人 建物と人と環境のフォーラム

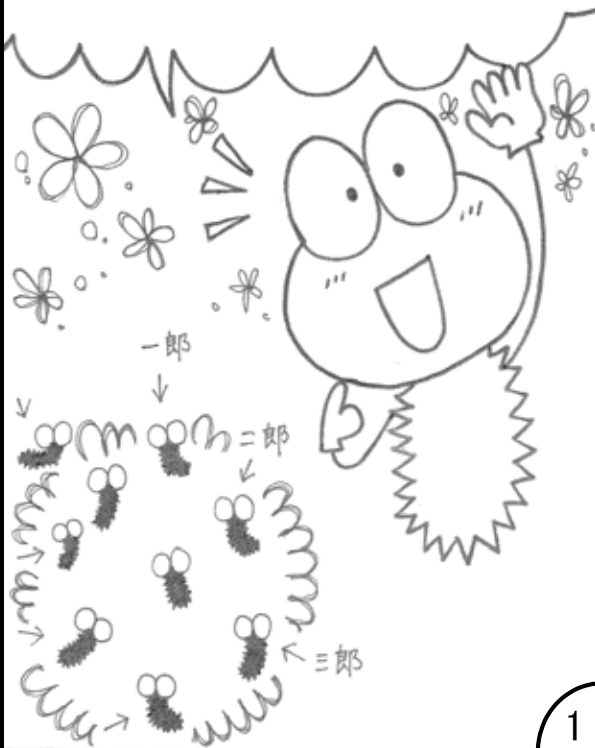
# アメリカシロヒトリ百郎物語



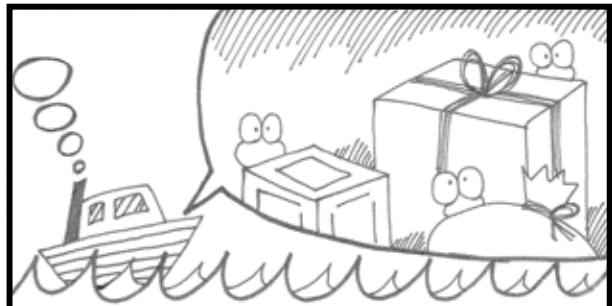
百郎最初のキャラ

作: 田嶋龍司 構成・画: 並木美穂子

僕の名前はひゃくろう。  
たくさんの兄弟のなかの末っ子だ。



1



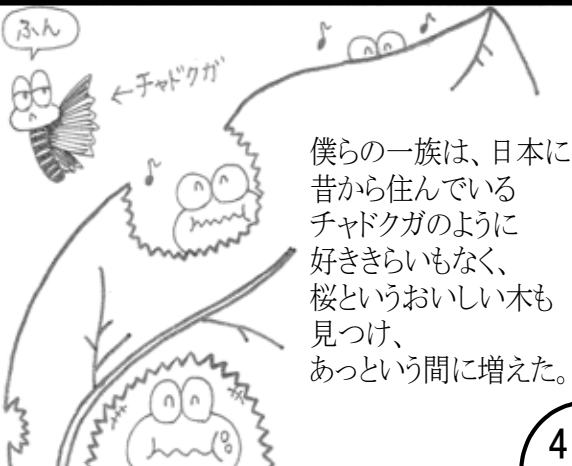
僕の祖先は昔、アメリカという国から  
船に乗って日本に来たらしい。

2

仲間が全くいない国にたどり着き、  
心細かった祖先は、家族をたくさん  
作ろうとがんばった。



3



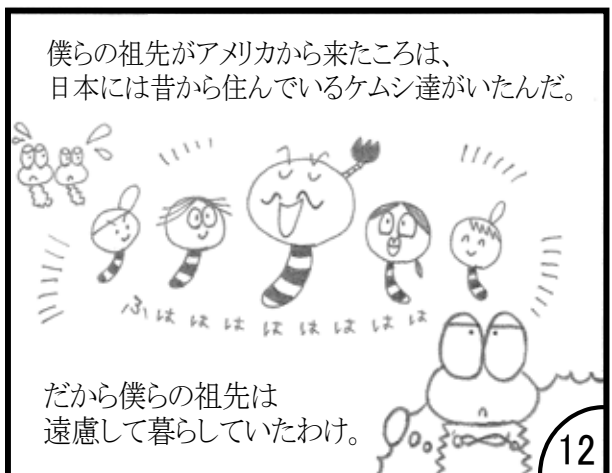
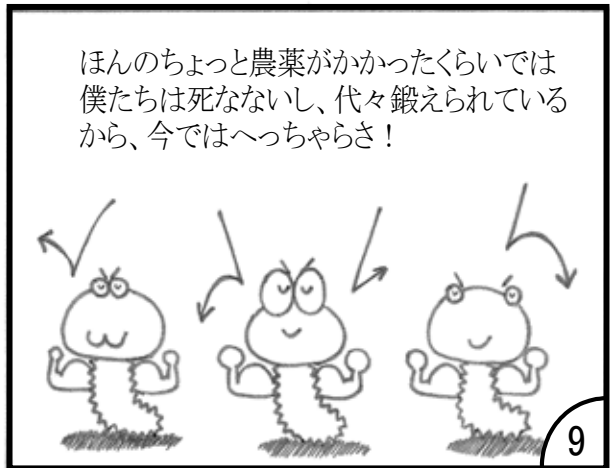
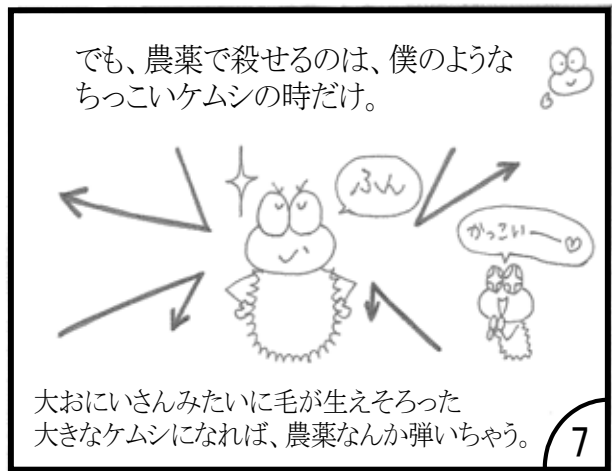
僕らの一族は、日本に  
昔から住んでいる  
チャドクガのように  
好ききらいもなく、  
桜というおいしい木も  
見つけ、  
あっという間に増えた。

4

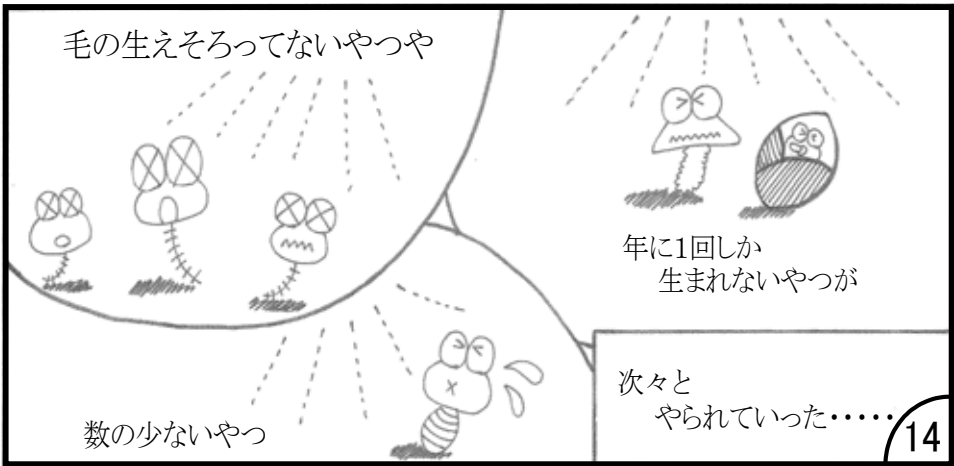


僕たちを食べる鳥たちも  
食べられるかどうか  
首を傾けて遠巻きに  
眺めている。

5



そこに——  
人間からの  
農薬攻撃が!!



毛の生えそろってないやつや

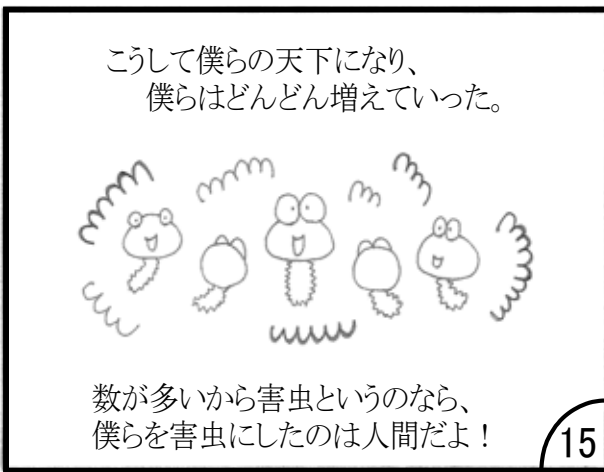
年に1回しか  
生まれないやつが

次々と  
やられていった……

数の少ないやつ

13

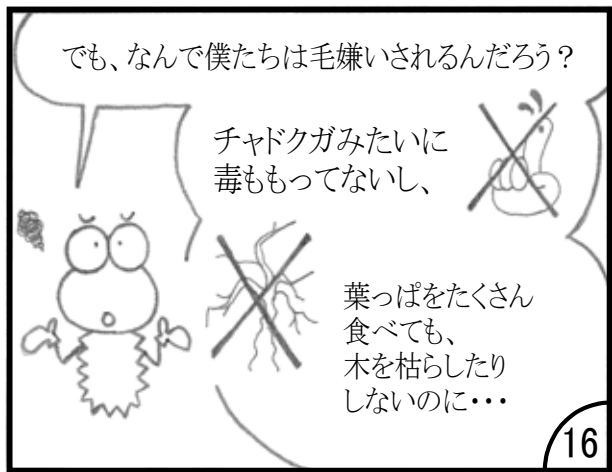
14



こうして僕らの天下になり、  
僕らはどんどん増えていった。

数が多いから害虫というのなら、  
僕らを害虫にしたのは人間だよ!

15

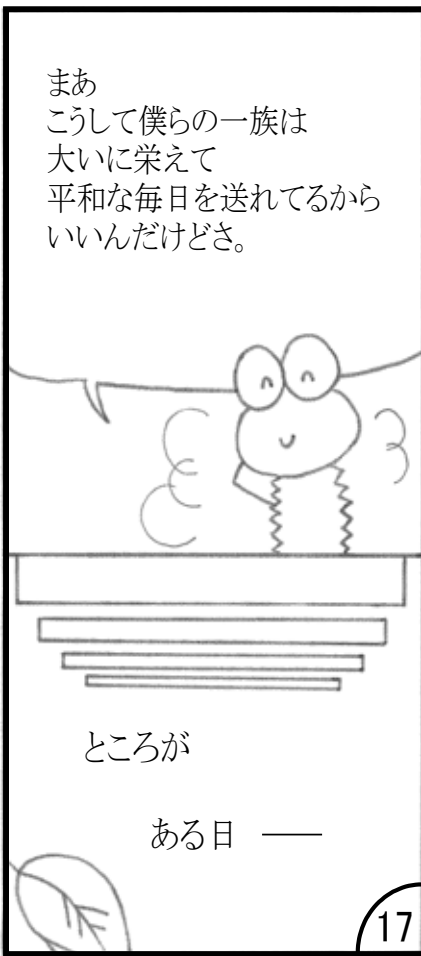


でも、なんで僕たちは毛嫌いされるんだろう？

チャドクガみたいに  
毒ももってないし、

葉っぱをたくさん  
食べても、  
木を枯らしたり  
しないのに……

16



まあ  
こうして僕らの一族は  
大いに栄えて  
平和な毎日を送ってるから  
いいんだけどさ。

ところが

ある日 ——

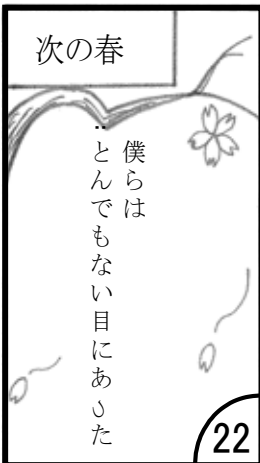
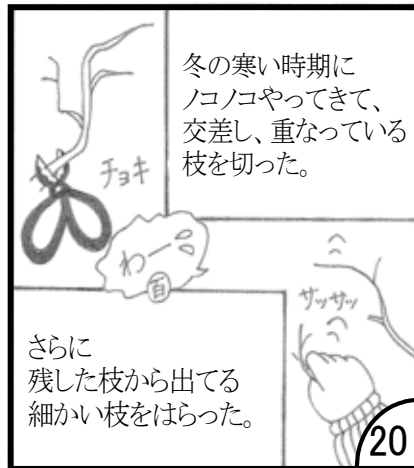
17



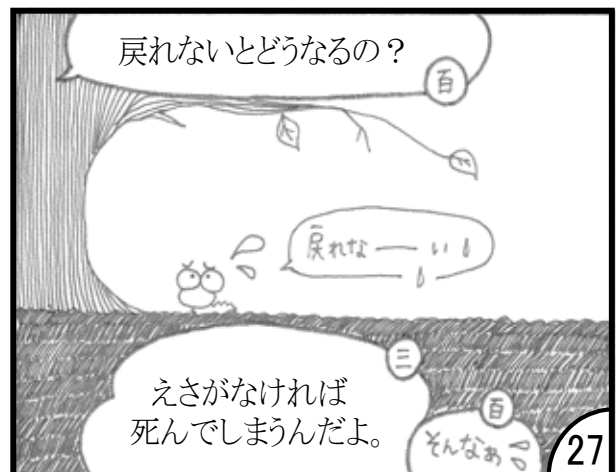
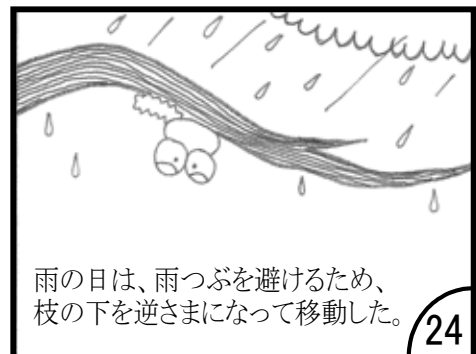
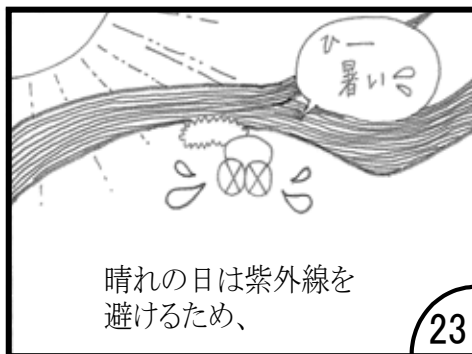
とんでもない奴が現れた!!

その名はクロジイ!!  
農薬を使わずに僕らを駆除しようとする  
変な植木屋!!

18



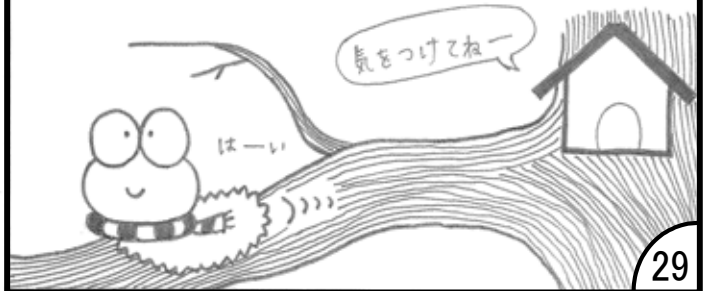
さっぱりとした枝は、僕らにはとてもやっかいだった。



悲劇はそれだけではなかった。  
最大の悲劇は暖かい日が続いた  
後の寒い日に起こった。



寒さから身を守るために、  
みんなはお家の中に避難していた。  
元気な僕だけが外でお散歩していた。



あっ

クロジイだ。  
なんだ？仲間を連れて。  
僕の家の方を見てるぞ？



あそこだ。  
葉っぱの食べ方を見れば  
巣のある木はすぐわかるんだ。

しかも、剪定してあるから  
見つけやすいんだ。



そしてハシゴをかけ、  
僕の兄弟たちを  
家ごと連れ去った。

あっ！  
僕の家が！



僕の家は  
ダンボールの中へ



なかには踏み潰しているやつもいる。  
あの家もやられたようだ……



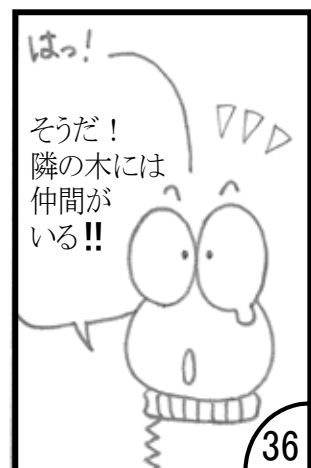
みんなあ

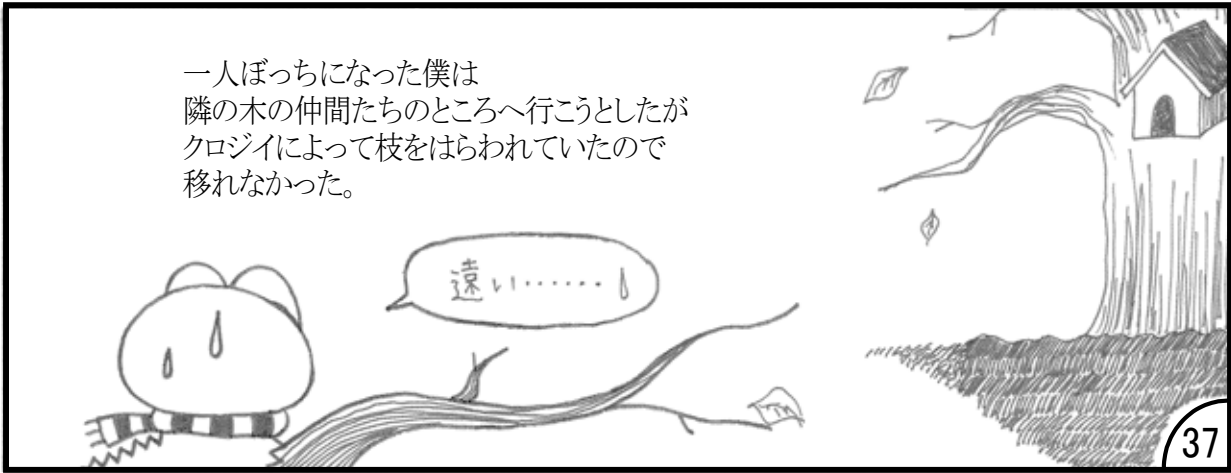
↑人ぼっちに  
なっちゃった……



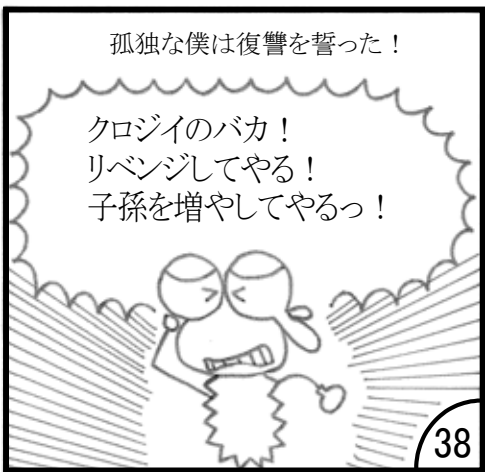
はっ！

そうだ！  
隣の木には  
仲間が  
いる!!

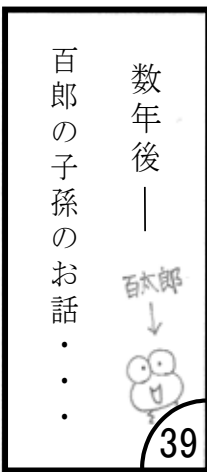




一人ぼっちになった僕は  
隣の木の仲間たちのところへ行こうとしたが  
クロジイによって枝をはらわれていたので  
移れなかった。



孤独な僕は復讐を誓った！  
クロジイのバカ！  
リベンジしてやる！  
子孫を増やしてやるっ！



数年後 —  
百郎の子孫のお話・・・



クロジイにお家を取られた後  
残ったわずかな仲間たちは  
木の上のほうで暮らしている。



でも、上の方に行きすぎると  
鳥にやられちゃう。



最近では日本の鳥たちも  
僕らを食べるようになった。  
これはヤマトシロヒトリに  
なったということかな？



昔みたいに大繁栄することはないけれど、  
細々ながらも僕たちは生きながらえている。

クロジイは僕らを絶滅  
させる気はないことも  
わかったし、  
これでいいのかもしれない。

END

**NPO法人 建物と人と環境のフォーラム**

**ブックレット編集委員会**

〒228-0818 神奈川県相模原市上鶴間本町4-1-1-103

TEL. 042(711)7730 / FAX. 042(741)7762

E-mail: [info@tatekan.org](mailto:info@tatekan.org)